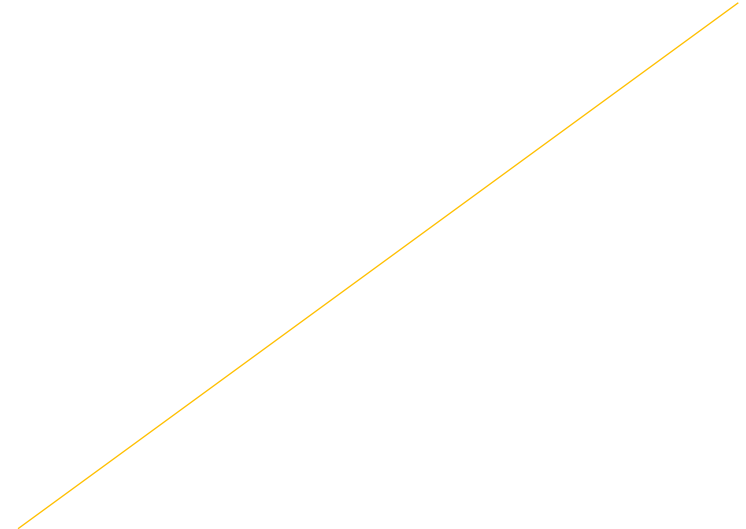
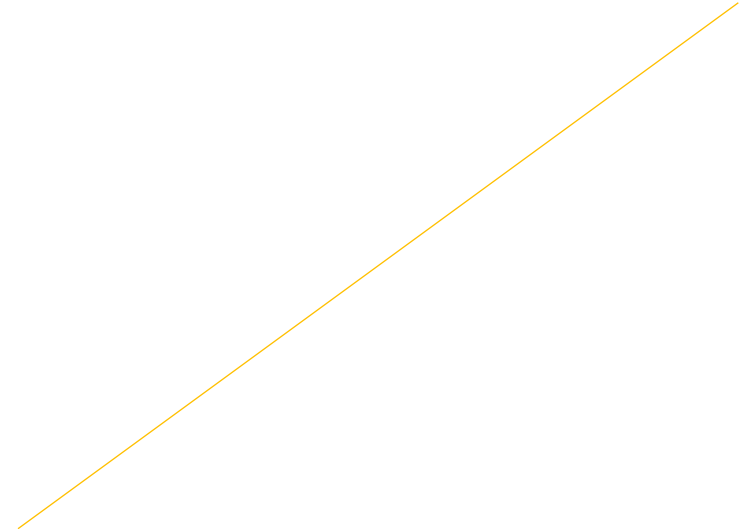


第一期スポーツ未来開拓会議後の主な外部環境変化と 今後の議論の方向性

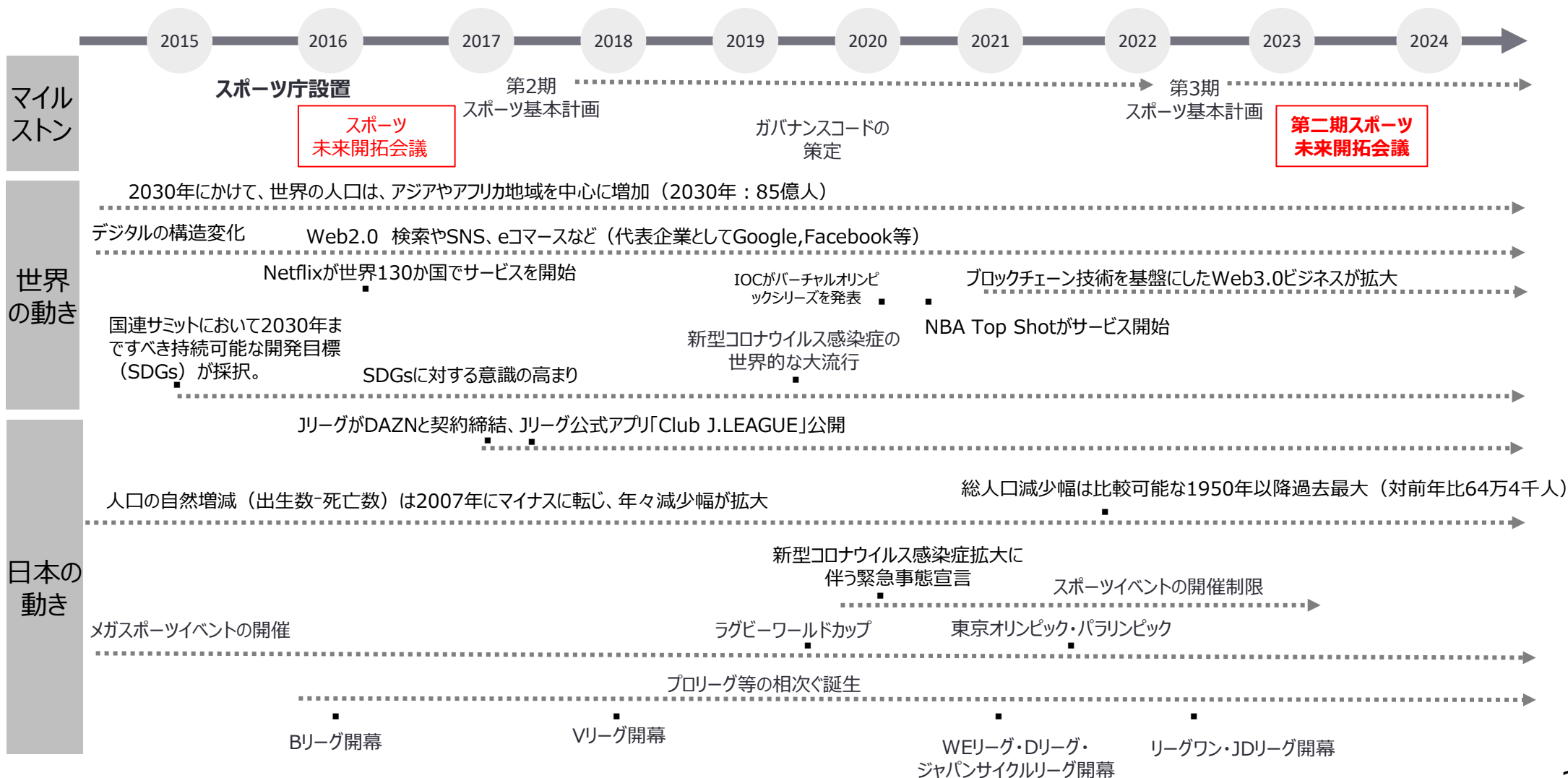


第一期スポーツ未来開拓会議後の主な外部環境変化



主な外部環境変化とスポーツ界の動き

- 2020年から新型コロナウイルス感染症が流行。世界的に人の移動等に制限。DXが加速し、我が国でもスポーツ分野の配信等が拡大。
- 2021年から世界ではブロックチェーン技術を基盤にしたWeb3.0ビジネスが拡大。
- 2016年にBリーグ発足。その後もプロリーグを含めた新リーグ構想やその立ち上げが続く。
- 2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）に対する意識が年々高まる。
- 2021年に東京オリンピック・パラリンピック大会開催。



新型コロナウイルス感染症拡大が与えた影響①

2020

2021

2022

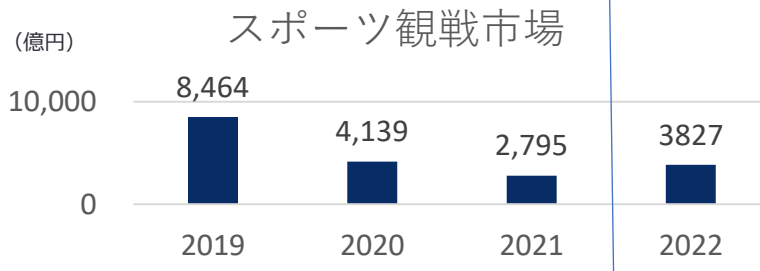
政府の主なコロナ対応（イベント・入国）

- ・国内初の感染者確認（1/15）
- ・大規模スポーツイベントの中止、延期要請（2/26～3/19）
- ・緊急事態宣言1回目（4/7～5/25）
- ・大規模スポーツイベントの無観客要請（6/19～7/9）
- ・スポーツイベントにおける収容人数上限5,000人（7/10～）
- ・全世界からの入国停止（12/28）
- ・緊急事態宣言 2回目（1月～3月）
3回目（4月～5月）、4回目（8月）
- ・入国制限、入国後14日間の待機期間の設定
- ・「大声」※声援なしで100%収容での実施が可能に（11/19）
- ・オミクロン株流行を受け再び全世界からの入国停止（11/30）
- ・入国人数の段階的な緩和、10月には入国制限の撤廃
（3月～9月：3,500→5,000→7,000→1万→2万→5万）
- ・スポーツイベントによる人数上限の緩和（2万人→定員まで）
- ・大声声援ありイベントでの収容上限の緩和（50%→それ以上）

プロスポーツ等のスポーツイベントへの主な影響

- ・リーグ・プロ野球共同の新型コロナウイルス対策連絡会議を設立（3/3）
- ・リーグやプロ野球などプロスポーツを始めとしたスポーツイベントの中止・延期
- ・リーグ再開（6/27～）、プロ野球開幕（6/19）← 無観客試合
- ・観客数（5,000人）・会場収容率（50%）上限に基づいた試合の実施
- ・定期的検査（PCR/抗原検査）や会場での感染対策実施による負担増
- ・プロスポーツの興行などにおける外国人選手の入国対応
（バブル方式による活動計画等の作成など）
- ・定期的検査（PCR/抗原検査）や会場での感染対策実施による負担増
- ・「大声」声援ありのスポーツイベントは会場全体の収容率が50%に制限
- ・定期的検査（PCR/抗原検査）や会場での感染対策実施による負担増
- ・リーグが声出しエリアと一般エリア併用による感染対策等の運営検証を実施
- ・声援エリアのみ50%、その他のエリアは100%収容の運用が可能に

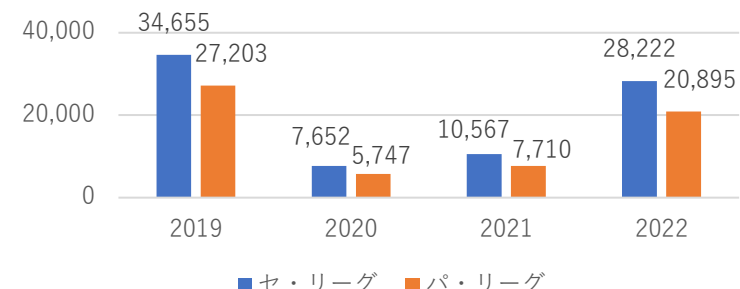
※政府方針による「大声」の定義：観客等が②通常よりも大きな声量で、①反復・継続的に声を発すること。得点時などの一時的な歓声等は該当しない。



※スタジアム・競技場での観戦者の支出額：2022年は暫定値。

出所：マクロミルと三菱UFJリサーチ&コンサルティング共同調査「スポーツマーケティング基礎調査」から引用し、EYSC作成

NPB平均観客数の推移



出所：2022年 セ・パ公式戦 入場者数 | NPB.jp 日本野球機構
<https://npb.jp/statistics/2019/attendance.html>

新型コロナウイルス感染症拡大が与えた影響②

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「新しい生活様式」を実践し、中長期に渡り感染症対策と向き合う中で、**運動不足**から身体的及び精神的な健康を脅かす**健康二次被害も懸念**される。
- **意識的に運動・スポーツに取り組むこと**は、健康の保持・増進だけでなく、ストレス解消、自己免疫力を高めてウイルス性感染症を予防することにも役立つ。

新しい生活様式におけるスポーツの在り方 コロナ禍の健康二次被害



感染症対策による活動制限・ 運動不足の長期化による影響

- ウイルス感染への不安
- ストレス蓄積
- 体重増加 生活習慣病の発症・悪化
- 体力の低下
- 腰痛・肩こり・疲労
- 体調不良

〈子供〉

- 発育・発達不足

〈高齢者〉

- 転倒による寝たきり
- フレイル ロコモ

運動の効果

- ➔ **自己免疫力の向上** 感染に対する抵抗力
- ➔ **ストレス解消** メンタルヘルスの改善
- ➔ **体重コントロール** 生活習慣病の予防・改善
- ➔ **体力の維持・向上** 筋力の維持・向上
- ➔ **血流の促進** 腰痛・肩こりの改善
冷え性・便秘の解消 良好な睡眠

〈子供〉

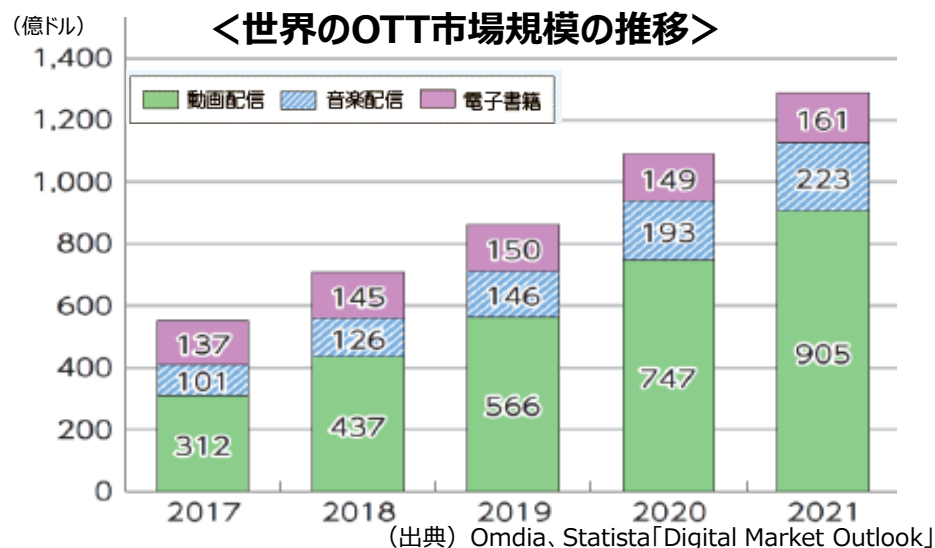
- ➔ **発育期の健全な成長**

〈高齢者〉

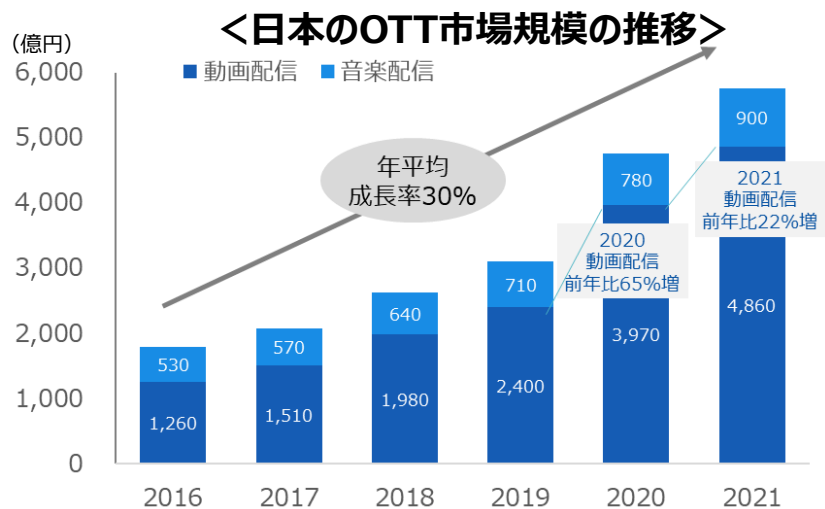
- ➔ **筋量・筋力の維持 転倒防止**
- ➔ **認知症予防**
- ➔ **食欲増進**

配信サービス市場の台頭、放映権市場の拡大

- スポーツの映像配信はTV放送が一般的だったが、2010年代中頃からインターネット回線を介して行われる**コンテンツ配信サービス：OTT（Over The Top：コンテンツ配信サービス）**が出現。**国内外において、OTT市場規模は年々拡大。**
- OTT市場の躍進や、オンラインベッティングの登場を背景に、**欧米トップスポーツを中心に放映権市場が拡大傾向。**

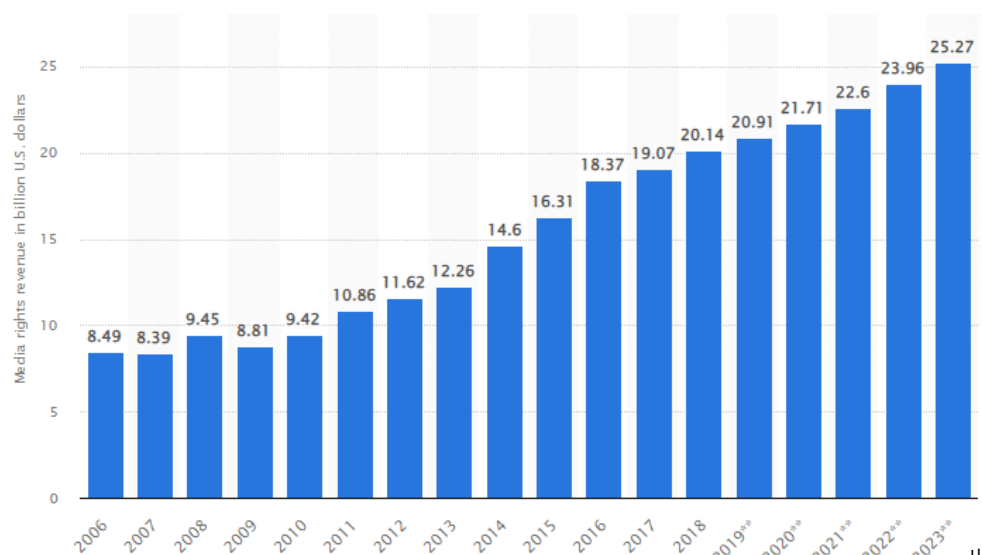


出所：総務省 令和4年版情報通信白書
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nb0000000.html>

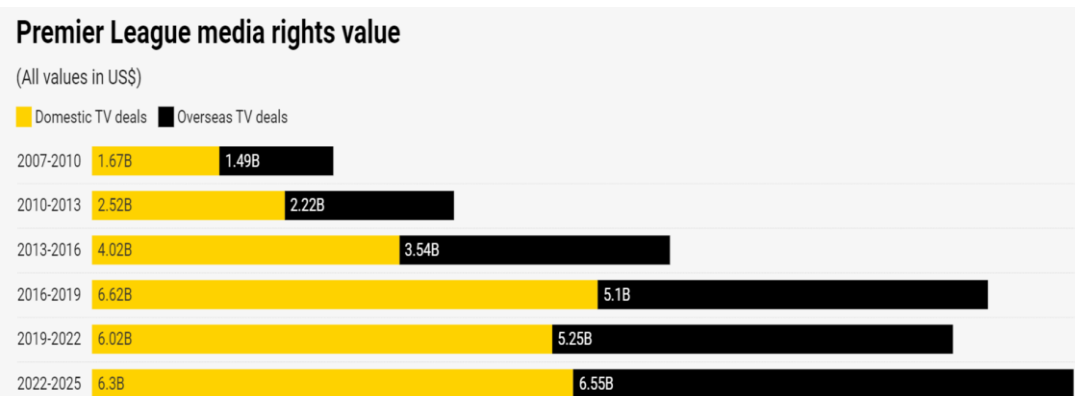


出所：音楽配信と動画配信市場規模は「レジャー白書2022」よりEY作成

＜米国におけるスポーツ放映権市場規模の推移＞（億米ドル）



＜英プレミアリーグにおけるスポーツ放映権市場規模の推移＞



出所：<https://www.sportspromedia.com/analysis/premier-league-2022-23-guide-club-sponsor-tv-rights-deals/>

(参考) 国内におけるスポーツコンテンツ配信の動き

- 国内でも、多様な方法でスポーツコンテンツを放送・配信する事例が登場。
- 視聴方法も、テレビ、スマートフォン、パソコン等多様に。

<PGAツアーの国内放送・配信>

- PGAツアーは2022年末に、それまで放送していたNHK BSチャンネルが終了（NFL、ATPマスターズも）、また、米ディスカバリー社の「GOLFTV」が撤退。
- 2023年1月からは、ジャパネットグループである株式会社ジャパネットブロードキャスティングが2021年に開局した「BSJapanext」にて無料配信を開始するとともに、公式アプリでの同時配信も開始。



公式スマホアプリ「つながるジャパネット」から無料で視聴が可能

次回放送予定
1月28日(土) 午前8:00~午前10:30 1月29日(日) 午前8:00~午前10:30
ファーマーズインシュランスオープン
実況：林正浩、解説：尾崎直道
次回放送は、トリーパインズGC サウスコース（カリフォルニア州）で開催される「ファーマーズインシュランスオープン」です。

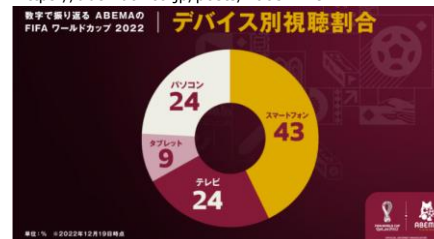
出所：NHKがPGAツアー放映から撤退。GOLFTVも終了…どうなるゴルフ中継？（みんなのゴルフダイジェスト） - Yahoo!ニュース
<https://news.yahoo.co.jp/articles/03e685ea87c0f64e32bbf27dadc4a6eff5f5fb8c>

出所：PGAツアー2022-2023シーズンの大会を、BS放送BSJapanext(263ch)で全国無料放送・アプリでの同時配信決定！～2023年1月8日（日）よりツアーチャンピオンシップを含む31大会～ | ジャパネットグループサイト (japanet.co.jp)
<https://corporate.japanet.co.jp/newsrelease/20221213/>

<サッカーワールドカップ2022>



(C) AbemaTV, Inc.
出所：ABEMA「FIFA ワールドカップ カタール 2022」[ABEMA]の1週間視聴者数が3,000万を突破し、開局史上最高を記録
<https://abematv.co.jp/posts/40634278>



(C) AbemaTV, Inc.
出所：CyberAgent数字で振り返る「ABEMA」の「FIFA ワールドカップ カタール 2022」
<https://www.cyberagent.co.jp/news/detail/id=28368>

<世界バンタム級王座統一戦「井上尚弥 vs ノニト・ドネア」>

- サブスク型（定額課金制）配信プラットフォームで試合が配信される事例も登場。
- 世界バンタム級王座統一戦では、Amazon Prime Videoが配信した作品の中で、配信初日として史上1位の視聴数を記録。



出所：イーファイト 井上尚弥vs.ドネアがPrime Video配信初日として日本の史上1位の視聴数記録=『THE MATCH』にも追い風か https://efight.jp/news-20220608_1089292

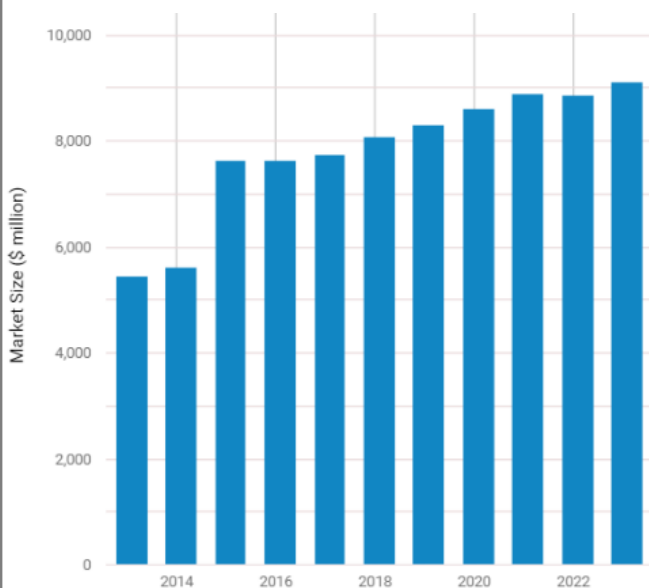
スポーツ×データビジネスの拡大、Web3.0ビジネスの登場

- ビックデータやAIの活用が進む中、スポーツでは「**スタッツデータ**」と呼ばれる、**試合に関するデータや機器を使って取得する詳細なプレーに関するデータ**など様々なデータ活用が進展。リーグやチームが選手強化や戦術に利用するのみならず、**メディアや、ファンタジースポーツ（※1）等のゲーム会社**など、様々な主体がそれぞれの方法で活用する動きが拡大。
- さらに、スポーツでも、ブロックチェーンを基盤にして近年発展・拡大している**Web3.0ビジネスが登場**。NFT（※2）を活用したデジタルトレーディングカードビジネスの他、最近では、NFTトレーディングカードを用いて行うファンタジースポーツも登場。

（※1）ファンタジースポーツとは、実在するスポーツ選手から成る架空のチームを組成し、その選手の実際の試合におけるパフォーマンスをスコア化したうえで、他の利用者と競い合うゲーム

（※2）NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）とは、「偽造不可な鑑定書・所有証明書付きのデジタルデータ」のことであり、ブロックチェーンの技術を用いて発展したもの。従来、容易にコピー・改ざんができるため、資産価値を持ち難かったデジタルデータに、資産価値を持たせることが可能になり、アートやゲーム、スポーツなどの幅広いカテゴリーにおいて活用されている。

<米国のファンタジースポーツ市場>



出所：Statista - Market size of the fantasy sports sector in the United States from 2012 to 2021, with a forecast for 2022
<https://www.statista.com/statistics/1175890/fantasy-sports-service-industry-market-size-us/>

<NBA TOP SHOT (NFTトレーディングカード)>



NBA選手のハイライト映像（モーメント）をNFT化し販売・流通させるサービス。中身に分らないランダムパック販売と、利用者間で特定のモーメントの売買を行う2次流通のマーケットプレイス運営が主要機能



出所：DappRadar <https://dappradar.com/flow/collectibles/nba-topshot>

NBA TOP SHOT売上高推移

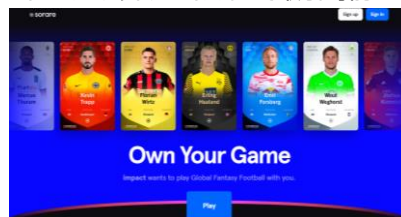
NBA Top Shot Sales Volume Data, Graphs & Charts



出所：CRYPTO SLAM <https://www.cryptoslam.io/>

<Sorare(NFT×ファンタジー)>

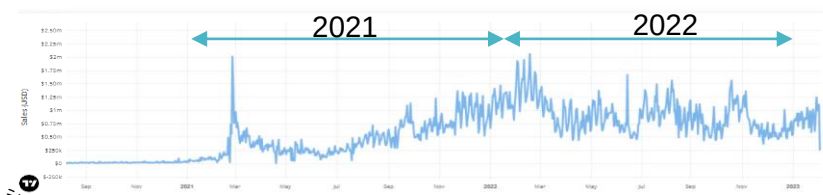
デジタルトレーディングカード（NFTカード）とファンタジースポーツの要素を取り入れたサービス。リーグには無料で参加できるが、NFTカードはマーケットプレイスなどで取引可能。



出所：BRIDGE -サッカーNFT「Sorare」、ソフトバンクVFから6.8億米ドルを調達——シリーズB調達額で欧州史上最大 <https://thebridge.jp/2021/09/sorare-funding-round-softbank-investment-nft-blockchain-pique-griezmann-pickupnews>

Sorare売上高推移

Sorare Sales Volume Data, Graphs & Charts



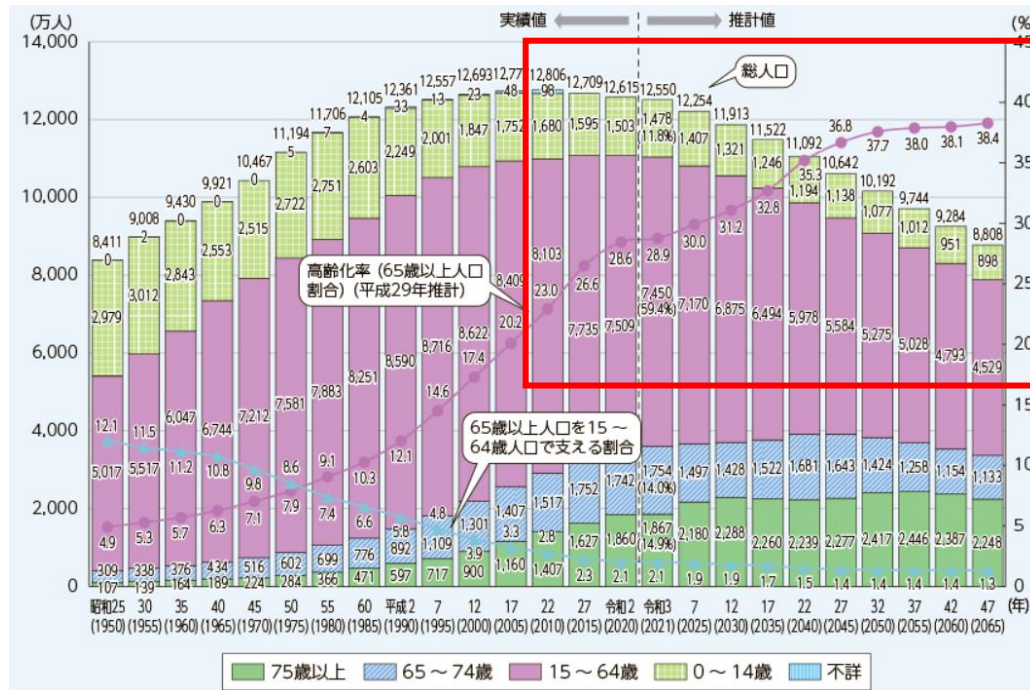
出所：CRYPTO SLAM <https://www.cryptoslam.io/>

プロリーグ等の相次ぐ誕生

項目	Bリーグ	Tリーグ	Vリーグ	WEリーグ	Dリーグ	ジャパン サイクルリーグ	JDリーグ	リーグワン
開幕	2016	2018	2018	2021	2021	2021	2022	2022
運営 団体	公益社団法人 ジャパン・プロフェッ ショナル・バスケット ボールリーグ	一般社団法 人 Tリーグ	一般社団法人 日本バレーボール リーグ機構	公益社団法人 日本女子 プロサッカーリーグ	株式会社 Dリーグ	一般社団法人 ジャパンサイクル リーグ	一般社団法人 日本女子ソフト ボールリーグ機構	一般社団法人 ジャパンラグビー リーグワン
ミッション (理念)	「バスケで日本を元 気に!」、 「地域に愛されるク ラブ」	「世界No.1の 卓球リーグを実 現する」、 「卓球のスポー ツビジネス価値 を高める」、 「卓球を通じて 人生を豊かに する」	新リーグでは、 チームが主役となり、 ファンを楽しませ会 場を盛り上げる、 「ファンファースト」な リーグを目指す。	「女子サッカー・ス ポーツを通じて、 夢や生き方の多 様性にあふれ、 一人ひとりが輝く 社会の実現・発 展に貢献する」	世界中すべて の人に、 「ダンスがある 人生」 をもたらす。	「地域密着型チーム の価値向上への寄 与」、「自転車を通じ た地域活性化およ び地域課題解決へ の寄与」、「世界基 準となるチームや選 手の輩出」世界が注 目する「新たなサイク ルロードレースリーグ の実現」	ソフトボールで 社会に笑顔を	「ファンが熱狂する非 日常空間の創造」、 「日本ラグビーの世 界への躍進」、 「地元の結束、一体 感の醸成」、 「社会に貢献する人 材の育成」
ビジョン	「国内プロスポーツ 全体の発展を牽 引」、 「NBAに次ぐ世界 第2位のリーグへ」	世界トップレベ ルの選手を擁 するチームから、 趣味でプレー する地域の チームまでが、 各カテゴリーに 分かれて存在 する姿を目指 す。	チームの独自性を出 したホームゲームや、 ホームタウンである 地域との密接な連 携を通して、ファンを 惹きつけ、リーグの 価値を高めます。	「世界一の女子 サッカーを。 世界一アクティブ な女性コミュニ ティへ。 世界一のリーグ 価値を。」	ダンスの見方・ 見せ方の NEW STANDARD をつくる	サイクルロードレース を通じて、世界に誇 れる日本オリジナル の「スポーツ文化」を 地域と共に創りあげ、 心身の健康と人生 の豊かさを多くのサ ポーターの皆さんと共 有	世界最強の ソフ トボールリーグとな り、多くの人々が ソフトボールを愛し、 ソフトボールを通じ て人々の交流が 生まれ、笑顔溢 れるコミュニティが 各地域で広がるこ とを実現	「あなたの街から、 世界最高をつくらう」
クラブ・ チーム数	B1 : 24 B2 : 14	11	男子 : 30 女子 : 23	12	10	16	東地区 : 8 西地区 : 8	ディビジョン1 : 12 ディビジョン2 : 6 ディビジョン3 : 5
シーズン	9月～3月	10月～6月	10月～4月	10月～4月	3月～11月	4月～11月	4月～11月	12月～5月

少子高齢化・人口減少の加速化

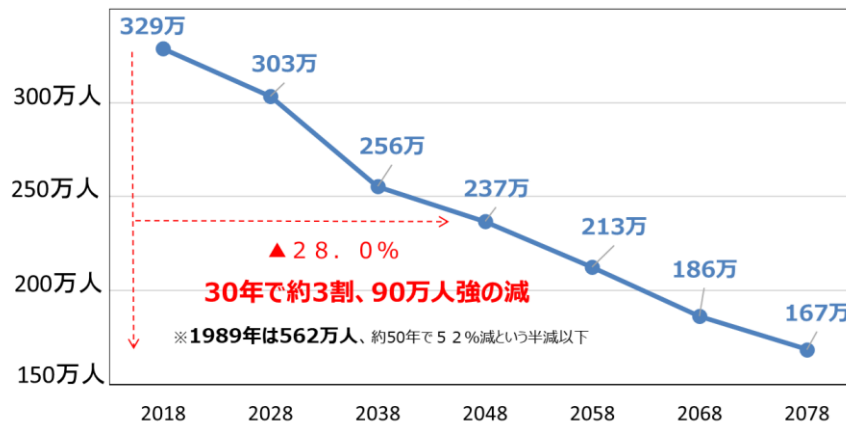
- ✓ 我が国の総人口は今後も減少する見込み



出所：内閣府「令和4年版高齢社会白書」（https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2022/html/zenbun/s1_1_1.html）（2022）

中学生世代の今後の人口推計

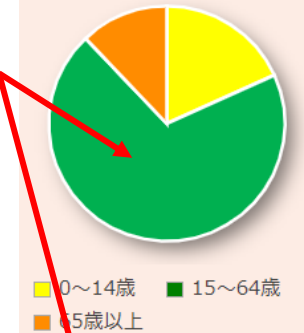
- ✓ 生徒数／学校規模はさらに小さくなることが予想される。



中学生世代の人口数は4月1日時点において12～14歳の者の数
厚生労働省作成「人口動態統計」月報（2017年5月）により算出するとともに、将来の出生者数について、国立社会保障・人口政策研究所作成「日本の将来推計人口（平成29年推計）詳細結果表」の「1．出生中位（死亡中位）推計」を基に算出。

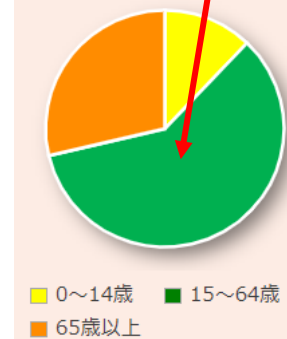
- ✓ 15～64歳の割合が減少
- ✓ 少子・高齢化が進む見込み

男性	60,696,724人
女性	62,914,443人
合計	123,611,167人



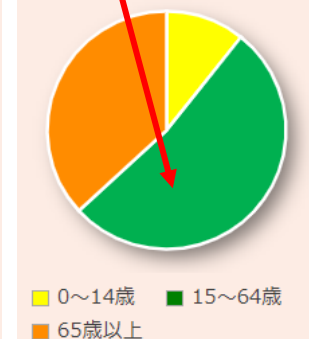
時点：1990 年

男性	61,349,581人
女性	64,796,518人
合計	126,146,099人



時点：2020 年

男性	51,422,617人
女性	54,998,568人
合計	106,421,185人



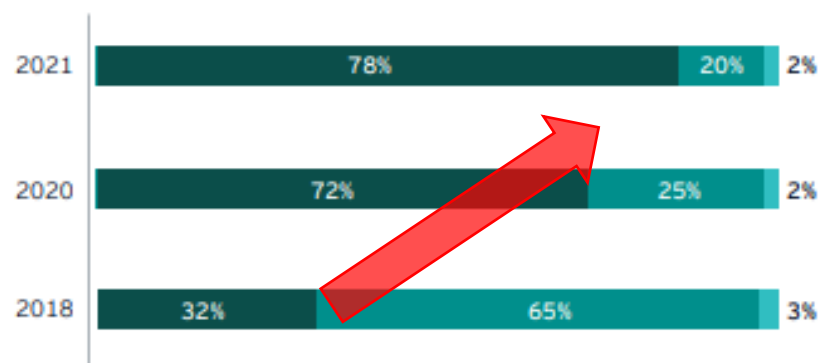
時点：2045 年

総務省統計局統計ダッシュボードで作成
(<https://dashboard.e-stat.go.jp/>)

SDGs・ESGの機運の高まり

投資判断時における非財務情報※の活用に関する意識変化

- EYが企業における投資意思決定者を調査したところ、「**非財務情報を形式的かつ体系立てて評価している**」者の割合が2018年から2021年までの4年間で46%増加。



- 非財務情報情報をほとんど活用していない
- 非財務情報を非公式に活用している
- 非財務情報を形式的かつ体系立てて評価するプロセスがあり、活用している

※非財務情報……企業に関する情報のうち、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー等の財務以外の情報のこと。ESG情報（環境、社会、ガバナンス）、サステナビリティ、企業の中長期の経営戦略、知的財産情報等を指す。

出典:EYレポート (Is your ESG data unlocking long-term value?, 世界中の投資を判断する企業の意思決定者に対してアンケートを実施し、324名からの回答)
https://assets.ey.com/content/dam/ey-sites/ey-com/en_gl/topics/assurance/assurance-pdfs/ey-institutional-investor-survey.pdf

欧州におけるサステナビリティ評価（クラブランキング）

- 欧州では、サッカークラブの非財務情報が多く開示され、クラブが実施しているサステナビリティ活動を評価する組織や調査も複数存在。その順位がメディアなどでも紹介されており、**投資を呼び込む一つの指標**となっている。

Club	Financial Sustainability	Governance Score	Fan Engagement	Equality Standards	Sustainability Index
Liverpool	32.00	25.95	6.95	5.19	70.09
Southampton	35.40	23.70	9.65	1.00	69.75
Arsenal	37.00	22.69	6.05	4.00	69.74
Tottenham Hotspur	34.00	24.71	5.40	4.78	68.89

例えば、ガバナンススコアに環境対策などが重みづけされた指標となっている

出所: FAIR GAME | SUSTAINABILITY INDEX 2023より抜粋

<https://static1.squarespace.com/static/6047aabc7130e94a70ed3515/t/63d1b16979b82644c0d96120/1674686858147/Final+Fair+Game+Sustainability+Index+26+Jan+2023.pdf>

Liverpoolのサステナビリティ事例

- 英国プレミアリーグのリバープール財団(LFCF)は、クラブが社会に対して与えている価値を、社会(教育、犯罪低減等)、経済(施設等)、健康(Well-being, ガン撲滅等)に分け、それぞれを数値化し、報告書に記載。2021-22シーズンでは、約 £ 80M (約120億円)の効果があつたと試算。
- 英国プレミアリーグの55%のクラブがサステナビリティに関する報告書を公表している、(各リーグのHPをもとにEYが調査)



- ✓ LFC Foundation & Red Neighbours Impact 2021-2022を公表。

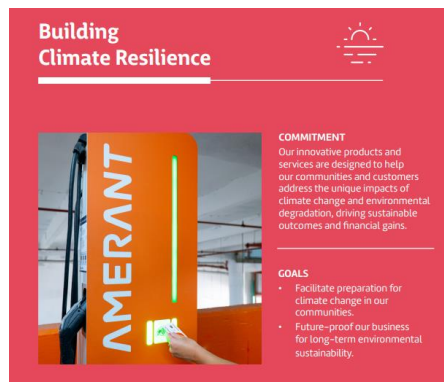
出所: lfc foundation & red neighbours - impact report
<https://www.efdn.org/wp-content/uploads/2022/11/20b4216fd9d36ccb61a665009e8fd7e76e403d60.pdf>



- ✓ マンチェスターシティによるサステナビリティに関する報告書
 出所: 「GAME PLAN 2022 Sustainability agenda update + environmental impact report」
<https://www.mancity.com/meta/media/fb5jh5fd/man-city-2022-sustainability-game-plan.pdf>

(参考) SDGs・ESGの機運の高まり

Miami HEATのマイアミビーチ掃除事例



出所：MIAMI HEAT HP、Amerant 2021 ESG Report: Building Climate resilienceより抜粋
<https://media.amerantbank.com/wp-content/uploads/2022/05/AMERANT-ESG-2021-Report.pdf>

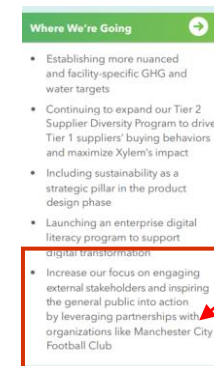
- Amerant銀行(米国)は、マイアミヒート(NBA)が地元で実施するBeach Sweepの活動が、同社が掲げるESG戦略(持続可能なビジネス環境整備)に合致するとし、同活動への支援に加え、アリーナ内の広告等を含めた投資を決定。
- スポーツチームの活動を支援することを通じて自社のESG戦略を達成するとともに、それが幅広く広報されることを期待。

Phoenix Sunsのアリーナ事例



出所：Footprint HP、FootPrint center HPの情報を基にEYSCにて作成
<https://arizonasports.com/story/2728423/phoenix-suns-mercury-rename-arena-footprint-center/>

マンチェスター・シティの水関連活動事例



日本語訳：マンチェスターシティフットボールクラブなどの組織とのパートナーシップを活用し、外部の利害関係者とともに、一般の人々の行動を駆り立てることに重点を置いている

出所：MANCHESTER CITY HP、Xylem Sustainability Memo: Overviewより抜粋
<https://www.mancity.com/news/club/city-puma-xylem-water-inspired-202122-away-kit-63793306>
<https://www.xylem.com/siteassets/sustainability/2021/xylem-sustainability-report-2021.pdf>

- 米国の水処理機器大手であるXylem社は、英国プレミアリーグのマンチェスター・シティとPUMA社と協力し、ムンバイ、サンパウロ、ブエノスアイレス、マンチェスターにおいて、水に関する教育やムンバイにおける雨水施設の設置などを実施。
- Xylem社も自社のサステナビリティレポートにおいて、同事業の重要性について強調。

- Footprint社(米国)は、Phoenix Suns(NBA)及びMercury(WNBA)がプレーするアリーナの命名権を購入。
- さらに、アリーナで利用されるプラスチック製品の大半を、同社が販売する地球にやさしい素材で製造された製品に置き換えた。
- コカ・コーラなどの企業も同活動に賛同。同アリーナにおける変更は、同社の世界に向けた事業拡大への第一歩と位置付けられている。



第3期スポーツ基本計画

今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策

① 多様な主体におけるスポーツの機会創出

地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上、体育の授業の充実、運動部活動改革の推進、女性・障害者・働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上等

④ スポーツの国際交流・協力

国際スポーツ界への意思決定への参画支援、スポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォームの検討等

⑦ スポーツによる地方創生、まちづくり

武道やアウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進など、スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国での加速化等

⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材

民間・大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用の促進、地域スポーツコミッションなど地域連携組織の活用、全NFでの人材育成及び活用に関する計画策定を促進、女性のスポーツ指導に精通した指導者養成支援等

② スポーツ界におけるDXの推進

先進技術を活用したスポーツ実施のあり方の拡大、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出等

⑤ スポーツによる健康増進

健康増進に資するスポーツに関する研究の充実・調査研究成果の利用促進、医療・介護や企業・保険者との連携強化等

⑧ スポーツを通じた共生社会の実現

障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発・情報発信等

⑪ スポーツを実施する者の安全・安心の確保

暴力や不適切な指導等の根絶に向けた指導者養成・研修の実施、スポーツ安全に係る情報発信・安全対策の促進等

③ 国際競技力の向上

中長期の強化戦略に基づく競技力向上支援システムの確立、地域における競技力向上を支える体制の構築、国・JSPO・地方公共団体が一体となった国民体育大会の開催等

⑥ スポーツの成長産業化

スタジアム・アリーナ整備の着実な推進、他産業とのオープンイノベーションによる新ビジネスモデルの創出支援等

⑨ スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化

ガバナンス・コンプライアンスに関する研修等の実施、スポーツ団体の戦略的経営を行う人材の雇用創出を支援等

⑫ スポーツ・インテグリティの確保

スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進、スポーツ仲裁・調停制度の理解増進等の推進、教育研修や研究活動等を通じたドーピング防止活動の展開等



第3期スポーツ基本計画

目標設定：全ての人が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、
スポーツの力で、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指す

💡 国民のスポーツ実施率を向上

- ✓ 成人の週1回以上のスポーツ実施率を70%
(障害者は40%)
- ✓ 1年に一度以上スポーツを実施する成人の割合を
100%に近づける (障害者は70%を目指す)

💡 生涯にわたって運動・スポーツを継続したい子供の増加
(児童86%⇒90%、生徒82%⇒90%)

💡 子供の体力の向上
(新体力テストの総合評価C以上の
児童68%⇒80%、生徒75%⇒85%)

💡 誰もがスポーツに参画でき、共に活動できる社会を実現

- ✓ 体育授業への参加を希望する障害のある児童生徒の
見学ゼロを目指した学習プログラム開発
- ✓ スポーツ団体の女性理事の役割を40%

💡 オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会で、過去最高水準の金メダル数、総メダル数、入賞者数、メダル
獲得競技数等の実現

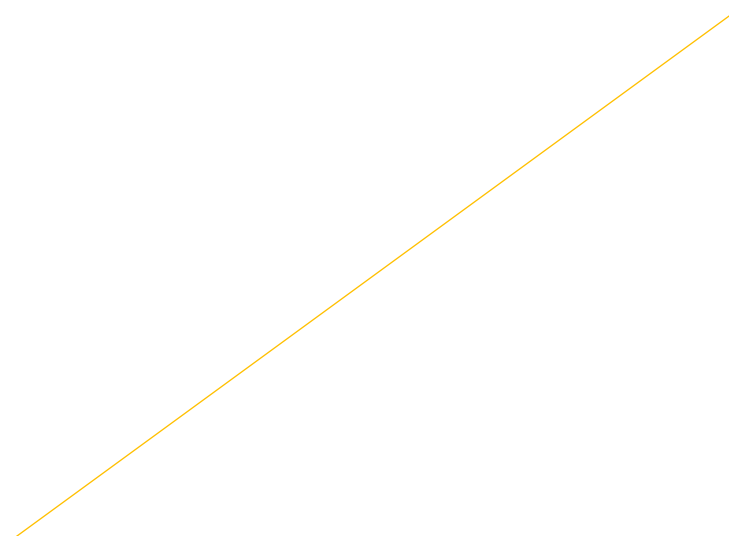
💡 スポーツを通じて活力ある社会を実現

- ✓ スポーツ市場規模15兆円の達成 (2025年まで)
- ✓ スポーツ・健康まちづくりに取り組む地方公共団
体の割合15.6%⇒40%

💡 スポーツを通じて世界とつながる

- ✓ ポストSFT事業を通じて世界中の国々の700万人の
人々への裨益を目標に事業を推進
- ✓ 国際競技連盟(IF)等役員数37人規模の維持・拡大

今後の議論の方向性



第二期スポーツ未来開拓会議での検討の柱（案）

2. スポーツ界におけるDXの推進

デジタル技術を活用したスポーツ実施のあり方、
新たなビジネスモデル創出等

4. スポーツの国際交流・協力

スポーツ産業の国際展開等

6. スポーツの成長産業化

スタジアム・アリーナ整備の着実な推進、
新ビジネスモデルの創出支援等

9. スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化

スポーツ団体の戦略的経営を行う人材の雇用創出支援等

1. 多様な主体におけるスポーツの機会創出

地域や学校での子供・若者のスポーツ機会の充実等

7. スポーツによる地方創生、まちづくり

スポーツツーリズムの更なる推進等

5. スポーツによる健康増進

健康増進に資するスポーツに関する研究の充実等

8. スポーツを通じた共生社会の実現

障害者や女性のスポーツの実施環境の整備等

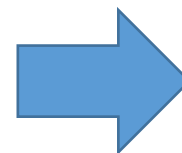
3. 国際競技力の向上

10. スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材

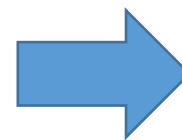
11. スポーツを実施する者の安全・安心の確保

12. スポーツ・インテグリティの確保

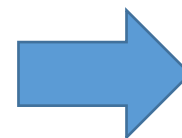
■ 今後の検討の柱（案）



1. トップスポーツの
更なる拡大



2. 地域スポーツの発展



3. Well-Beingの向上